



市内イベントを随時更新中▶十和田市ブログ「駒の里から」  
<http://citytowada.exblog.jp/>

▶十和田市写真館 <http://www.city.towada.lg.jp/youkoso/photo/top.htm>

### 中心商店街に十和田市を表現したアート作品 青い森のちいさな美術部による展覧会

現代美術館で開催中の奈良美智展の関連企画、青い森のちいさな美術部による展覧会「森をぬけて。」が、中心商店街周辺で1月14日まで行われています。部員は若手作家6人で、部長の奈良さんの指導のもと、市内で2回の合宿を通して作品を制作しました。bank towadaで展示している安田葉さん（神奈川県・24歳）は「市民の皆さんと一緒に作品を作りました。普通の美術館ではできないことができてよかったです」と、話しました。



安田さんと約4mある馬の頭を象った作品「あたたかな地」。一面の落ち葉は市民の皆さんと一緒に拾ったもの

### 遊びを通して英語に親しもう イングリッシュ・デイ in Towada

12月15日、市民文化センターで「イングリッシュ・デイ in Towada」が開催されました。これは、市教育委員会が生英会話に触れ、国際理解を深めようとしたもので市内の小中学生66人が参加しました。この日の会話は英語で行われ、ALT（外国語指導助手）の指導のもと、外国の遊びなどが行われました。野月寛太くん（南小・6年）は「英語が得意になりたくて参加しました。外国の遊びを知れてよかったです」と、話しました。



スイカ割りに似たピニャータという遊び。お菓子が入ったスノーマンを木の棒を使ってみんなで叩いて割りました

### 開かれた議会を目指して 十和田市議会一般質問、初の日曜日開催

12月9日、十和田市議会の一般質問が、日曜日に初めて開催されました。日曜日の開催は、議会改革の一環として試験的に行われたもので、市民ら23人の傍聴者が訪れました。

初めて傍聴に訪れた工藤亜希子さん（30歳）は「質問や答弁がどのように行われるか興味がありました。ネット中継を視聴するのと違い、議員、答弁者の表情が見えるのがいいですね」と話しました。



熱心に一般質問を傍聴する市民ら

### 東京で三農生らが十和田産品をPR おいしい十和田フェア in 東京

11月30日から12月2日、東京都千代田区のおおもり北彩館で「おいしい十和田フェア in 東京」が開催されました。これは十和田産品を首都圏に売り込むため、市が初めて開催したものです。県立三本木農業高校生のつくねいもボーイズは、同校で生産したつくねいもの試食や販売を行い、用意していた70個が初日で完売となりました。ほかに、市内の生産者や野菜ソムリエ、きみがらスリッパ生産組合も参加し十和田産品をPRしました。



つくねいもの消費拡大に取り組む三農つくねいもボーイズの皆さん。とろろの試食を用意し、販売を行いました

### 子どもの育成と子育て支援活動が評価 ハピたのが内閣府特命大臣表彰

十和田 NPO 子どもセンター・ハピたの（中沢洋子代表）が内閣府が実施する平成24年度子ども若者育成・子育て支援功労者表彰の子育て・家族支援部門で特命大臣表彰を受賞しました。ハピたのは、カフェ事業を拠点とした関係機関とのネットワークの構築など子どもの育成と子育て支援活動が評価されました。中沢代表は「この地域のため、子どもたちのため、できることを行っていきたい」と、意気込みを話しました。



11月27日に市役所を訪れ、小山田市長に喜びを報告したハピたのの皆さん

### 8月に十和田産品フルコースを提供した鏡シェフ 十和田産品の特別ランチコース

11月26日、奥入瀬森のホテルで東京都のセンチュリーコート丸の内レストラン「ロゼット」の料理長・鏡智行シェフが、十和田産品の特別ランチコースを提供しました。コースには、十和田湖ひめますや十和田湖和牛など十和田産品37品目が使われ、市民など約50人が料理を堪能しました。味わったかたは「十和田産品がこんなにあるとは知らなかった。十和田産品を味わえるこのような機会はうれしい」と、話しました。



ランチコース終了後、各テーブルを回って参加者の声を聞く鏡シェフ



### 冬景色を幻想的に彩る 市内各地でイルミネーション

12月4日から25日の間、アート広場を中心に「Arts Towada Winter illumination（アーツ・トワダ ウィンターイルミネーション）2012」が行われました。

約30万個のLED電球が使用され、今回新たな試みとして電力の一部に、県内の家庭で発電されたグリーン電力が使われています。青い光がアート作品を照らし、幻想的な世界を演出していました。ライトアップされた駒っこ広場では屋台村がオープンし、イルミネーションを見に訪れたかたが立ち寄っていました。

また、11月25日から十和田湖温泉スキー場第1駐車場下の公園エリアで「奥入瀬イルミネーション in 焼山」が行われています。

25日に行われた点灯式では、奥入瀬温泉活性化協議会の小笠原正明会長が「焼山に長く滞在していただきたいという思いからイルミネーションを実施しました。雪が降ったら一層きれいに見えると思うので楽しみにしてほしい」と、あいさつしました。

このイルミネーションには3万個の電球が使われており、期間は1月27日まで、午後5時から9時の間点灯されています。



1 アート広場の作品が青く浮かび上がりました  
2 3 奥入瀬イルミネーションのようす。点灯式参加者にはベジでムースが配られました